

子ども読書支援センターニュース No.156

2017. 5. 31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★幼児のためのおはなし会

○日時：平成29年6月6日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 ○対象：幼児

《5月のおはなし会で使った本》

『こんにちは』 内田麟太郎/脚本 山本祐司/絵 童心社 2009

『どうぶつのおかあさん』 小森厚/ぶん 藪内正幸/え 福音館書店 1981

『でてこいでてこい』 はやしあきこ/さく 福音館書店 1998

『かおかおどんなかお』 柳原良平/作・絵 こぐま社 1988

『おおきなかぶ』 A.トルストイ/再話 内田莉莎子/訳 佐藤忠良/画 福音館書店 1998

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『どのはな いちばん すきな はな?』 いしげまりこ/ぶん わかさかつじ/え 福音館書店 2017.3 ¥800

ぱーっとひらいた赤い花、ぴゅーんとのびてる白い花、ぐんぐんぐーんとのびる花、雨と一緒に開く花…。元マリメッコのファブリックデザイナーが、庭先に咲く身近な花々を、明るく軽やかな色彩とわかりやすいデザインで描く。生き生きとした花の絵にリズムカルな文章が添えられており、思わず声に出して読みたくなる。春にすすめたい絵本。

<絵本-3, 4歳から>

『きゅうきゅうばこ 新版』 やまだまこと/文 やぎゆうげんいちろう/絵 福音館書店 2017.2 ¥900

1989年に刊行されたロングセラー科学絵本が、刊行30周年を期に、内容や絵を現代医療に合わせてリニューアル。旧版では、傷は「消毒する」「ガーゼを使う」処置を紹介していたが、新版では「傷口消毒せずに水で洗い流して被覆材を貼る」新しい処置法に改訂。けがの手当の方法を子どもでも学べるようにやさしく楽しく紹介した、子どもの応急手当の絵本。

『イードのおくりもの』 ファウズィア・ギラニ・ウィリアムズ/文 プロイティ・ロイ/絵 前田君江/訳 光村教育図書 2017.4 ¥1300

イードとは、ラマダン月（断食月）が明けるとお祝いのお祭りのこと。靴職人のイスマトは、イードの贈り物として母や妻や娘には服飾品を、自分にはズボンを買うが、ズボンはちよっぴり長すぎた。そこでみんなにズボン丈をつめてくれと頼んだが、イードの料理支度で忙しいからと全員に断られ…。明るいストーリーは読み聞かせ向き。トルコの民話をもとに、インドで出版された絵本。

<絵本-5, 6歳から>

『ひとりになったライオン』 夏目義一/文・絵 福音館書店 2017.4 ¥1400

家族を離れて、一頭で暮らすことになった若い雄ライオン。今日からは、食べ物を与えてくれる親もいない。自分で獲物を捕まえないければと、シマウマの子どもに狙いを定め、つかまえようとしたが…。広大なサバンナの様子が、絵本の横長の見開きページいっぱいに広がる。若いライオンが、失敗しながらも成長していく姿を、リアルにかつユーモアも交えて描いた絵本。

『くらやみのなかのゆめ』 クリス・ハドフィールド/作 ザ・ファン・プラザーズ/絵 さくまゆみこ/訳 小学館 2017.2 ¥1480

真っ暗な寝室がこわかったクリス。でも、1969年にアームストロング船長が月面に降り立つ姿をテレビで観て、宇宙飛行士になりたいと強く思う。クリスの努力は報われ、カナダ人初の宇宙飛行士になり、1995年にスペースシャトルの乗組員として宇宙に飛び立った。宇宙飛行士クリス・ハドフィールド自身による幼少期の語りや、夢を持つことの大切さを伝える絵本。

『あらしのよるに 点字つきさわる絵本』 きむらゆういち/文 あべ弘士/絵 日本点字図書館/点字製作 ユニバーサルデザイン絵本センター/触図製作 講談社 2017.2 ¥2750

オオカミとヤギの友情を描いた『あらしのよるに』が、墨字併記の点字つき絵本として刊行。あべ弘士の描き下ろしの画に、点字と触図が凹凸起印刷され、見えない人と見える人が同じ場面と一緒に楽しめる。また弱視の人が読みやすいように、字体や文字の配色にも配慮。折本仕立ての絵本で、裏面には点字学習コーナーと『あらしのよるに』全7巻の場面がたどれる絵巻付き。

<絵本-小学校低学年から>

『なかいなかの骨の旅』 松田素子/文 川上和生/絵 講談社 2017.2 ¥1800

私たちは、体の中に海をもって生きている。生命は海の中で生まれ、進化し、やがて陸上で生活するものも生まれたが、その体の細胞は海の成分と似たリンパ液にひたされ、海と同じ成分でその血液や骨は構成されている…。骨をもたなかった生きものが進化し、骨をもつようになった歴史や、骨の重要な役割などを紹介した科学絵本。著者の松田素子は山口県出身。

<絵本-小学校高学年から>

『夢金（ゆめきん）』 立川談春/文 寺門孝之/絵 はげけんいち/編 あかね書房 2017.1 ¥1500

しんしんと雪が降る江戸の夜、船宿の二階からは、「百両ましー」と金に目のない船頭熊公(くまこう)の寝言が聞こえる。そこに現れたのは、人相の悪い浪人とお嬢様。怪しげな二人の客を乗せ、熊公は夜の川に船を出す…。古典落語「夢金」の世界が、立川談春の文と黒を基調にした絵により、鮮やかに表現された。「古典と新作らくご絵本シリーズ(全10巻)」の最終巻。

<読み物—小学校低学年から>

『どうぶつがっこうとくべつじゅぎょう』 トビイ ルツ/作・絵 PHP 研究所 2017.4 ¥1100

動物学校は、動物が先生で人間が生徒。でも、しまうまくんだけは、特別に動物の生徒なんだ。ある日、北極やジャングルからやってきた動物と一緒に特別授業を受けたしまうまくんは、発熱で保健室で休むことに。そこで、隣のベッドで寝ている、たいくつでしょうがないとなげくしまうまに出会う。言葉と気持ちの結びつきを感じることができる1冊。「しまうまシリーズ」第5弾。

<読み物—小学校中学年から>

『宿題ロボット、ひろったんですけど』 トーマス・クリストス/作 もりうちすみこ/訳 柴田純与/絵 あかね書房 2017.3 ¥1300

惑星調査のために開発された、ロボットのオルビー。任務の遂行を拒否して研究室を逃げ出したオルビーは、9歳の男の子リヌスに拾われた。宿題を完璧に仕上げ、家事もこなすオルビーを頼りにするリヌス。だが、オルビーを捕まえ、ひともうけしようとする盗人たちに行方を追われることに。リヌスはオルビーを守るため、奮闘するが…。ロボットと少年の友情物語。

<読み物—小学校高学年から>

『ふたりユースケ』 三田村信行/作 大沢幸子/絵 理論社 2017.2 ¥1400

小5の小川ユースケは、父親の転勤で山間の町に引っ越したとたん「ユースケの生まれ変わりだ」と町中の人に言われ、戸惑う。神童と呼ばれていたが、2年前に川で溺死した「大川ユースケ」に名前も姿もそっくりだというのだ。ユースケは、したいに「大川ユースケ化計画」に飲み込まれていく。大人のペースに振り回され、正直な気持ちを出せない子どもの苦悩を描く1冊。

『大林くんへの手紙』 せいのあつこ/著 PHP 研究所 2017.4 ¥1300

最近、大林君が学校へ来ない。心配したクラスメイトは学級会で話し合い、全員で手紙を出すことに。文房は適当に「作文」した手紙を書いてしまったことを後悔し、本当に自分ができることは何なのかを考え始めた。そして、休み時間にはいつも大林君の席に座ってみることにする。そこで、見えてきたものは…。本当の優しさとは、友情とは何かを考えさせる1冊。

<読み物—中学生から>

『明日のひこうき雲』 八東澄子/著 ポプラ社 2017.4 ¥1400

給食はあたしの大切な栄養源、そして親友の満里はあたしの空気清浄機。誰にも言えない家族の問題を抱え、危うい学校生活を送っていた「あたし」が、一瞬で恋に落ちた。サッカー部の押しかけマネージャーとなった彼女たちは…。豊かな感受性を持った14歳の少女の友情、初恋、家族関係を爽やかに描く。「teens' best selections」シリーズ。

『か「」く「」し「」ご「」と「』 住野よる/著 新潮社 2017.3 ¥1400

体育会系の男子ツカ、気弱な京くん、正義のヒーロー三木さん、パッパパラパーのバラ、不登校だった宮里さん。個性的な男女5人が、友達関係を通して自己のありようを見つめ成長する様子を、それぞれの視点からユーモラスに描く。高2から高3にかけて、強い友情と淡い恋心を育む5人には、それぞれ「かくしごと」が…。『小説新潮』掲載に加筆し書籍化。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『なんのくちばし?』 今泉忠明/監修 ポプラ社 2017.4 ¥2850

大きくて長いくちばしで、下が袋のようになっています。これは、何のくちばしでしょう。これは、ペリカンのくちばしです。単純な問いかけと答えとともに、動物たちの体の一部をクローズアップし、なぜそんなかたちをしているのかを写真とともに楽しく紹介する「どうぶつの中からこれ、なあに?」シリーズ全7巻。他に、きば、つ、つばさ・はね、しっぽ、もよう、たまご。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『ごみゼロ大作!めざせ!Rの達人』(全6巻) 浅利美鈴/監修 ポプラ社 2017.4 ¥2900

ごみを生かして減らす「R」の取り組みについて、マンガや写真を使って楽しく解説。巻末の「Rの達人検定」に挑戦することで、学びのふりかえりができる。『ごみってどこから生まれるの?』(第1巻)、『リデュース』(第2巻)、『リフューズ・リペア』(第3巻)、『リユース』(第4巻)、『レンタル&シェアリング』(第5巻)、『リサイクル』(第6巻)。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『もしも病院に犬がいたら』 岩貞るみこ/作 講談社 2017.3 ¥640

日本で初のファシリティドッグ(施設で働く犬)のベイリー。ハンドラー(一緒に病院を歩く看護師)として病院で勤務した森田優子さんとの出会いから、ハワイでの研修、静岡県立こども病院での仕事ぶりを描いた、ノンフィクション。薬がのめるようになった、ベッドから起き上がれるようになった等、毎日同じ病院へ勤務する犬と専属の看護師の必要性を伝える1冊。

<ノンフィクション—中学生から>

『中学英語で日本を紹介する本』 デイビッド・セイン/著 河出書房新社 2017.2 ¥1400

道案内や出会いの会話、外国人を自宅に招く、一緒に観光する、日本について紹介するなど具体的な場面を設定して最低限のおもてなしができるコミュニケーション力を目指す。日本で30年近い英語教育経験のある著者のワンポイントアドバイスやテーマ別の単語集などお得な情報も満載。MP3音声ダウンロードできるQRコード付き。「14歳の世渡り術」シリーズ。

<研究書>

『乳幼児おはなし会とわらべうた』 落合美知子/著 児童図書館研究会 2017.2 ¥1500

図書館でのおはなし会の低年齢化が進む中、なぜおはなし会にわらべうたを取り入れるのか、どのように取り組めばよいのかということについて、長年の経験と各地の図書館への調査から、基本となる考え方や方法を提唱する。子どもの世界とわらべうたの関係、親子で楽しむわらべうた集、乳幼児のおはなし会のプログラム、よく読まれる絵本一覧などを掲載した理論と実践の書。